

はじめてのせかい 0・1・2歳児 No.2

0歳児

ふれあい遊び♪



歌をうたう保育士と目が合うとニコッと笑い、肌が触れ合うと、安心した表情で心地よさを感じて身をゆだねています。
そして、保育士と友だちが遊んでいるのを見ると側にきて寝転び、おなかを両手でぽんぽんとたたいたりして自分もしてほしいと伝えています。
また、友だちのしている様子をじーっと見て笑っている姿もあり、保育士や周囲との安定した関係の中で共に笑い合い同じ楽しい気持ちを感じています。



1歳児

スクリブル(なぐりがき)



クレヨンを持って思いのままに手を動かすことで、しゅっしゅっと音がしたり、手を前後左右に動かして線が(絵が)できていったりする面白さを感じながら、何枚も描いています。

目は紙をよく見て、真剣な表情です。まだ色が付いていないところを探して描き、紙が線でいっぱいになると、最後は、ふーっと満足の吐息をつき、できたものをじっと見つめていました。その姿から、夢中で描いていたことが伝わってきた瞬間でした。

「ころころ びよーん」(小麦粉粘土)

小麦粉粘土をちぎったり、ころがしたり、手のひらを使って丸めたりして、自分の手の動きによって形が変わることを楽しんでいきます。

両手に持って引っ張り伸びると「びよーん」と言ったり、手の平を使って「ころころ」と言いながら丸めたり、細長く伸ばしたものを「へびだぞー。」と机の上で動かし、保育士が「長いへびができたね」と言うのもっと長いへびをつくっていました。また、丸めたものを手の平で押して平たくすると、「ピザができたよ。」と見せていました。それを見た友だちも「ぼくも」といい、見ながら真似して作っていました。

感触を楽しむだけでなく、できたものを言葉で表現したり、友だちの真似をしたりして、友だちや保育士と一緒につくることを楽しんでいます。



2歳児

